

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	オルクス		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
	パロール					
オプション			年齢	17	性別	女
覚醒	生誕	衝動	自傷	初期侵食率	33	%
出自	疎まれた子	経験	汚れ仕事	邂逅	自身	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	0	1			1	行動値	8
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	8
精神	3	1	0			4	戦闘移動	13
社会	3	0	0			3	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	10		交渉	3	
回避	1		知覚			意志	2		調達		
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	1		情報:UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
応急手当キット					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費	
D:奇妙な隣人	P	N			
ハッチェリーセル	P 執着	N 恐怖			
リチャード・ロウ	P 誠意	N 不安			
ピサイド	P 信頼	N 不安			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	6	残り財産P:	3		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:パロール	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:								
魔神の心臓	3	4	メジャー	-	-	対決	100↑	
効果:	命中であらゆる判定ダイス-Lv×3個							
縛鎖の空間	2	3	メジャー	視界	単体	対決	-	
効果:	命中で重圧と放心、シナリオLv回							
黒の鉄槌	5	1	メジャー	視界	-	対決	-	
効果:	攻:Lv×2+2、同エンゲージ不可							
オリジン:レジェンド	5	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果:	シーンの間、精神の達成値+Lv×2							
因果歪曲	3	3	メジャー	-	範囲選択	-	-	
効果:	範囲選択に、同エンゲージ不可、シナリオLv回							
時の棺	★	10	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果:	判定失敗に、シナリオ1回							
斥力跳躍	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	飛行状態で戦闘移動、移動距離+Lv×2m							
時間凍結	★	5	イニシアチブ	至近	自身	自動	80↑	
効果:	メインプロセス、シナリオ1回、HP20消費							
事象固定化	1	4d10	メジャー	-	-	対決	120↑	
効果:	与えたバステはエフェクトで回復不可、シナリオLv回							
地獄耳	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	RC							
ディメンジョンゲート	★	3	メジャー	至近		自動	-	
効果:								
ポケットディメンジョン	★	-	メジャー	至近		自動	-	
効果:	知覚							

事象固定化取得、ポケットディメンジョン、RC8→10、意志1→2、知識:レネゲイドビーイング0→1、交渉0→3、応急手当キット常備化

自分の記憶が失われている、と聞かされて困惑中。
ピサイドは信頼出来る自分自身…だけど、自分の事を信じ切れるのか、何を覚えていないのか、分からずに揺らいでいる。(ロイス説明)

基本的に言葉数が少なく、大きな物音によく怯える。
マイナス感情ほど顔に出やすく、喜んでいたり照れているのは表に出にくい。
そんな明音をサポートするのがピサイドで、思っている事を代弁してくれたり、あまり喋らないが故に勘違いされがちな部分をフォローしてくれている。また、育った環境からピサイドが精神的な親代わりな部分がある。

ピサイドが取り憑いた経緯は不明で、物心ついた頃には彼(?)の事を認識していた。
ピサイド曰く、明音の事を放っておけないらしく、つい世話を焼いてしまうとか。中の人はどこぞのエミヤをイメージしてしまっただが、そんな感じかもしれない。
皮肉屋成分抜いたらいい感じ?
明音の代わりによく喋り、素直に感情を吐露する。しかしこれは明音の代弁をする時のみで、自身の事となると口数が少なくなるのは似た者同士かもしれない。
お互いに遠慮も壁もない。

生まれた時からオーヴァードであり、それ故一般人であった両親には気味悪がられ、虐待を受けて育った。なので、見知らぬ他人への恐怖感強い。
ピサイドとはかなり早い段階で出会っており、当時レネゲイドに関して知らなかった本人としては、何かお化けのようなものという認識であったが、それでも理解者のいない家で唯一信頼出来る相手だった。周囲からは、虚空に話しかける変な奴と思われていたが。